

特集:環境基本計画づくりは 民主主義の基礎づくり



特定非営利活動法人

¥200

環境市民

Citizens Environmental Foundation - since 1992 -

http://www.kankyoshimin.org

収益の一部は環境市民の活動資金として 使わせていただきます。なお、会員には 毎月無料配布しています。

みどりの _ ニュースレター

誌面が少し新しく なりました。

No.179 2008年4月号



index

コレため!

新生活をピカピカに! ~重曹をフル活用~ …02

特集:環境基本計画づくりは 民主主義の基礎づくり

...03-08

子どもたちに残したい理想のまち

奈良県生駒市・環境基本計画策定の様子 no.3 …09

行事案内

...10

とれたて! 環境市民

古い木材も見違えるほどきれいに "洗い屋"ワークショップ

セミナー「挑戦 地域から日本を変える ~日本の環境首都への道~パート3」開催

旬のぷちメモ「フェアトレードコーヒー」

···11-12

りじこらむ no.1 _ 新コーナー

「公」のあり方を変える 上田 正幸 …13

読者交流コーナー みどりのかわらばん

...14

1/環境市民

5月からは世界一周の旅へ! 北村 ますみさん …15

次号 みどりの No.180 予告 ニュースレター 2008年5月号



特集:先進事例が導く! 持続可能な社会 日本の環境首都コンテスト(第7回)報告

3月末に出された日本の環境首都コンテスト(第7回)の結果の報告を行います。今回参加した66自治体と、全国の自治体のモデルとなる進事例の数々をご紹介します。 ※結果速報はウェブサイトでも公開中です。

http://www.eco-capital.net/

コレため!

コレ、ためして みました。

毎月エコロジカルなライフスタイル・グッズを スタッフが体をはって実践レポートします!

File 33

新生活をピカピカに! ~重曹をフル活用~



寒い冬も終わり、いよいよ春ですね。春といえば、新しい生活を始める方もおられるでしょう。また何か新しいことをしたい気持ちになりますね。そこでみなさん、市販の洗剤を使わないエコ生活を始

めてみてはいかがでしょうか? 市販されている多くの洗剤には 合成界面活性剤という毒性のある物質が含まれています。これ は手荒れ、アトピーなどの皮膚障害を起こします。そして川や 海に流れると水質を汚染してしまいます。そこでおすすめなのが 重曹です! 最近の環境意識の高さから薬局、スーパーやドラッ クストアでも簡単に手に入るようになってきました。

重曹(正式名称・炭酸水素ナトリウム)は弱アルカリ性で人体に無害で、水質汚染もありません。昔の家庭では、掃除などによく使われていました。それではさっそくためしてみることに.....。

まずは食器洗い(油で汚れたお皿はあらかじめボロ布で拭くことをおすすめします)。スポンジに重曹をパラパラと振りかけて水で湿らせて拭いてみると普通に違和感なく汚れが落ちていきました。つぎに、ガスまわりの掃除をしてみることに……。ここもパラパラと振りかけて油と馴染ませます。しばらくするとボロボロととれてきたのでボロ布で拭き取るとかなりきれいに!ほかにもレンジ内やそのまわり、換気扇なども拭きましたが、かなり汚れがとれました。

そして掃除で疲れた体をいやすのにおすすめなのが重曹風呂! やり方はかんたん。大さじ2杯分の重曹を浴槽に入れるだけです。神経痛、肩こり、腰痛、疲労回復、冷え性、皮膚病、とさまざまな効果があります。実際、ためしてみましたが、かなり疲れがとれ、なんだか肌がつるつるになった気がします。また、あまり湯あかが付かないため、後のお風呂掃除がかなり楽です。さらに残り湯も洗濯に使えて、洗濯物の汚れも落ちやすいといいことづくし! みなさん、春のおとずれを機に地球にやさしい、そして人にやさしい、市販の洗剤を使わないエコ生活をはじめられてみてはいかがでしょうか?

(文/ニュースレター編集部 角出 貴彦)

特集:環境基本計画づくりは、 民主主義の基礎づくり

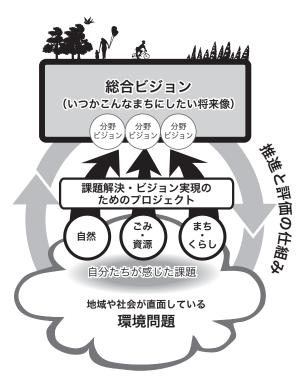
環境基本計画の策定が求められる自治体

~地球、そして地域のために~

自治体の取り組みがカギ

持続可能な社会を築く上で、地方自治体を含む「地域」は特に重要な役割を担っています。地域の重要性が再認識されるきっかけとなったのは、1992年にブラジル・リオデジャネイロで開催された地球サミット(国連環境開発会議)。国連主催のもと、約180の国が環境と開発に関して議論を交わしました。

そこで世界の行動計画として採択された「アジェンダ 21」の第28章で、「提起されている諸問題及び解決策 の多くが地域的な活動に根ざしているものであることか ら、地方公共団体の参加及び協力が目的達成のための決 定的な要素になる」と、地方自治体の取り組みの重要性 が強調されました。



野洲市環境基本計画(平成19年3月)より抜粋

地域から日本を変えよう

産業や市民のライフスタイルは地域の産業政策やまちの構造、交通網といった地域の社会システムに依拠しています。持続可能な社会を作るためにはそういった地域の社会システムを変えていく必要があります。変えていく現場が地域であり、その主体は、そこで暮らし、働く市民、事業者、行政です。

環境市民は、持続可能な社会を築くには、まずは地域から変えていくことが必要と考え、ミッションの一つに「エコシティーをつくる」を掲げ、それを実現する具体的な活動として日本の環境首都コンテストをはじめとする活動と、自治体とのパートナーシップ活動

を位置づけています。環境基本計画の策定コーディネートは、このパートナーシップの柱になるものです。

ほとんどの環境基本計画が「絵に描いた餅」と呼ばれ、策定後、計画の実施、実現に参画する人もいない状態です。そのような中、環境市民は、策定後「実行される計画」の策定を支援してきました。どのようなコーディネートをしているのか、そこにどのような意義があるのか次ページから詳しくみていきましょう。

今月の特集は、堀 孝弘、田麦 誠、藤居 竜矢、有川 真理子が担当しました。

環境基本計画づくりは民主主義の基礎づくり

(文/環境市民事務局長 堀孝弘)

環境市民のミッション実現のための 活動のひとつ

環境市民の重要なパートナーシップ活動の1つに、「環境基本計画策定会議のコーディネート」があります。これは、環境市民のミッション(活動目的)「エコシティをつくる」を実現するための活動のひとつです。また、環境市民は、これまで多くの人たちと、様々な地域実践活動を培ってきましたが、その経験を活かした活動でもあり、かつ活動コンセプトとしている「地域から社会を変えていく」「他セクターとのパートナーシップで進める」を具体的な形であらわした活動でもあります。

さらにいうと、「民主主義の基礎をつくる!」という 意気込みで、この活動に取り組んでいます。

絵に描いた餅になっている 環境基本計画もある

環境基本計画は、「環境の保全に関する総合的かつ長期的な施策の大綱」および「施策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項**1」からなっています。簡単にいえば、環境の取り組みをバラバラに進めるのではなく、めざすものは何か、誰が、いつまでに、どのように進めるのかを定めたものです。

環境基本計画の内容は、身近な生活環境から自然、交通、環境教育など、住民にとって関わりの深いテーマをあつかっています。それにも関わらず、地域住民にほとんど知られていません。また、自治体によっては、せっかく作った計画なのに、ほとんど動かすことができず、「絵に描いた餅」状態にしている自治体もあります。

※1 環境基本法(国) 第15条

なぜ、絵に描いた餅になるか

これまでに策定された環境基本計画は、地域環境の データは詳細に掲載されていても、具体的な施策の内容 は記されず、「市民は省エネに努めましょう」といった 標語のみ記されているものが多々ありました。計画書に 標語をどれだけ記しても、省エネを実践する人はあらわれません。そうではなくて、どのようにすれば、そのまちに省エネを実践する人を増やすことができるか、その中身が書かれていないと、ただの「願望」にすぎません。

また、多くの環境基本計画の策定は、策定委員の公募 もなく、会長や幹事もあらかじめ決まっていて、事務局 から提示される計画原案をもとに議論がすすめられてい ます。原案は、行政から委託を受けたコンサルタント会 社が作成する場合も多々あります。

委員の多くは、策定後、計画実現のための行動に参加することはありません。なぜならその計画は、コンサルタント会社の問題意識のもとに作られているからです。あるコンサルタント会社は、業務内容に「自治体の環境基本計画の立案」と明記していますが、実際の行動を想定した構成になっていません。このような策定手法も「絵に描いた餅」になる大きな理由です。

地域の異なる立場の人たちの協働行動を つくりだす

また、ひとつの事業であっても、「市の取り組み」 「市民の取り組み」「事業者の取り組み」のように、 別々の行動が羅列されている環境基本計画も多くありま す。省エネや自然保全、ごみ減量などは、行政・市民・ 事業者など、地域に関わるあらゆる主体が協力して行動 しないと、大きな成果をあげることはできません。多く の市民や事業者を巻き込んだ動きを、誰が何からはじめ て、どのように展開し、何年後にどのような状況を目指 すのか、それが記されていないと「計画」とは言えませ

実際に動く計画づくりのハードル

「実際に動く計画」をつくろうと思えば、住民公募で問題意識をもつ人や、地域の民間団体や事業者からも委員を出してもらうなど、後々「動けるメンバー」に集まってもらう必要があります。彼らが感じる「地域の問題」



を出してもらい、そのなかから「自分たちの課題」を確認し、その解決・改善のための施策(プロジェクト)を、 委員自ら行政職員と協力して立案しないといけません。

「集めやすい人」だけ集め、「原案を示して意見を聴く」に限定した「住民参加」をしても、それは形だけのものです。しかし、わかっていても、まだ多くの自治体が「絵に描いた餅計画」をつくっているのは、「委員を公募すればどのような人が入ってくるかわからない」「公募しても応募者があるのか」「一般市民に、計画などつくれるのか」「あまりにも多くの労力がかかりすぎる」といった懸念をもつ行政職員が多いからです。

不満をやる気に、思いを形に

公募委員のなかには、行政に対する不満ばかりを口にする人もいますし、なかには強い口調の人もいます。でもそれは、これまで行政に意見や提案を出しても、きちんとした対応がなかったことなどが主な原因と思われます。なにより、何十回と開催される策定会議への出席を前提に応募した人なら、地域に対する深い愛情とエネルギーを持っているはずです。そのエネルギーをポジティブな提案と行動に向けてもらうようにすればよいのです。

「計画がつくれるのか」といった懸念も、行政として は当然ですが、きちんとした情報とアドバイスがあれ ば、それぞれ「地域への思い」を持った人たちですの で、十分成し遂げられます。それはすでに幾つかの自治 体で実証済です。

ただし、このような手法での策定は、言うは易く行うは難し。要は、誰がそのような手間のかかるコーディネートをするかです。そこで環境市民をはじめとしたNGOの出番です。

これまでの環境市民の活動成果が活かすこと ができる

地域活動経験の豊富な人、主張の強い人、思いはあっ

ても活動を具体化した経験のない人など、様々な委員がいます。ですが、すべて、後々力になってくれる頼もしい人たちです。環境市民は、これまで学生や一般市民、企業関係者など、多くのボランティアたちと地に足を付けた活動を企画実施してきました。さらには「日本の環境首都コンテスト」や「グリーンコンシューマーガイド作成」など、何年も続く全国的な活動を構築してきた経験もあります。その様々な経験が、会議のコーディネートや策定を適切に進める土台になっています。

なにより大切な討論ルール

環境市民の環境基本計画策定コーディネートは、委員が対等に議論できるように、会長や幹事を初めから決めるようなことはしません。委員同士が知り合うための自己紹介やコミュニケーションスキルなど、一見、計画づくりに関係のなさそうなことを大切にしています。

策定には1年半から2年かけています。まず、ごみ問題や地球温暖化など、テーマ別の学習を10回前後行います。さらに現場を実際にみるフィールドワークも実施します。これらは後の議論や計画づくりの土台や情報共有になります。また、1回の会議は約3時間。1時間程度の学習の後、2時間近いワークショップを実施します。討論でも意見が一部の人に偏らないよう、進行や討論テーマを工夫しています。長丁場だからこそ、討論ルールがとても大切なのです。

自分たちの課題を解決するための計画に

ごみ問題やエネルギー、交通など「地域の問題の洗い出し」を委員自ら行ってもらいます。問題の背景を掘り下げ、緊急性や重要性を考え取捨選択し、解決・改善しなければならない「自分たちの課題」を見つけ出します。どれだけ重大な問題でも、「他人事」という思いがあるうちは「課題」にはできません。本当に「自分たちの課題」かどうか、何度も話し合います。また10~20年後の地域ビジョン(将来像)を議論のうえ、つくりあ

げていきます。この課題とビジョンをつなぐのが、プロジェクト・施策です。

もちろん、公募委員といっても住民全体からみたらごく一部です。そのため、中間段階で広く地域住民から意見を吸い上げます。その際、委員自身の言葉や思いで、どのような「中間案発表会」をするか考え、準備を進めてもらいます。様々な準備作業のなかで、多くの困難もありますが、委員同士の信頼は深まります。このような段階をへると、「この計画は自分たちの計画」という思いも高まります。

このような策定方法は、環境市民の代表の杦本がドイツ等の手法を参考にして考案し、2002~2003年に策定支援した岡山県津山市環境基本計画以降、多くのメンバーと実績を積み上げて築いてきたものです。

民主主義の基礎をつくるとは、どんなこと

環境市民のコーディネートの紹介はここまでにして、冒頭に書いた「民主主義の基礎をつくる」と、この活動の関係を紹介します。

すでにお気づきと思いますが、この活動は、次のような人たちを増やし、かつ活かせる場をつくることにつながっています。

- 1 地域の問題を掘り下げ、解決・改善のため、 自ら行動する。
- 2 自身と他人、双方の意見を尊重した建設的な 議論ができる。
- 3 行政、市民、事業者など、異なる立場の人たちと、違いを活かした協力ができる。

このような人たちが増え、環境基本計画に限らず、 真に市民参画といえる策定手法が、まちづくりや福祉、男女共同参画、交通施策など様々な場で、かつ多くの地域に広がるならば、この国は、地域の問題を、 その地域に住み、暮らす人が自ら考えて動いていく、 真に民主主義な社会に近づくことでしょう。

うまくいくための要件

ただし、どのような状況でも、うまく策定が進むと は限りません。「市民参画」という言葉が広まり、安 易に考える風潮もあります。

なにより行政側の問題意識が重要です。大切なのは 「動く計画をつくりたい」という思い。行政職員、と くに担当課の姿勢や言動を委員さんたちはとてもよく 見ています。行政が明確な策定方針をもち、公募時に 十分説明することが必要です。これが不十分だと、 後々「こんな手間のかかる策定方法でなく、誰かに原 案を出してもらったらよいじゃないか」という声が出 て、策定会議が混乱しかねません。

さらには構成メンバー。学生や事業者なども重要なメンバーです。会議へ継続した参加が難しいと思われる人たちにも、当初から入ってもらわないと後々の実行がうまくいかなくなります。どのような人たちを、どのように集めるか、我々もアドバイスしますが、「集めやすい人たち」ではなく、「必要な人たち」に集まってもらわないといけません。

「今回の策定は、今までと違う!」という思いが住 民に伝わった地域では、公募枠を越えて、選考が必要 なほど多くの応募がありました。

あらためて、環境市民が策定支援する意義

このような活動は、自治体からの委託事業として取り組んでいますが、私たちがやらなければ、従来の手法で「絵に描いた餅計画」が作られる可能性が高くなります。

私たちが取り組んでいる計画策定コーディネートは、環境基本計画に限らず、福祉、まちづくり、子育て、男女共同参画など、あらゆる分野に応用可能です。地域のNPO活動が盛んになった今、次は行政、事業者、市民の協働を如何に実体のあるものにしていくかが求められています。私たちの環境基本計画策定支援は、地域のあらゆる立場の人たちが、自分たちのまちの問題を、自ら考え、力をあわせて解決・改善する行動をつくりだすためのものです。つまりそれは、「民主主義の基礎をつくるための活動」であり、かつ

「民主主義の基礎をつくるための活動」であり、かつ 社会公益事業でもあるのです。

環境市民が策定コーディネートを行った

自治体職員、推進組織メンバーの声!

自治体職員の声



滋賀県 野洲市

2007年の4月から、環境市民が環境基本計画の策定のためのコーディネートを行った滋賀県野洲市環境経済部 環境課 大藤良昭さんに、今の様子と策定段階の感想についてうかがいました。

ધ 具体例で紹介できる だから「動く」計画! 🤻

平成19年9月に、庁内に環境基本計画を実施するため、行政の関係する部署が市民と連携できる環境基本計画推進ワーキンググループを立ち上げ、庁内の関係部署で協議を行い、平成20年3月に環境基本計画の庁内実施計画を策定した。また同月23日には同計画の推進組織(環境基本計画推進会議「水と緑・安心の野洲」)の立ち上げ総会を行った。推進組織のメンバーは約50人。策定段階からかかわっているメンバー(20人)よりもすでに新しいメンバー(30人)が多い。計画には、具体的なビジョン、取り組み、活動が明確に表現してあるので、新しい推進メンバーや、庁内の職員、自治会、事業者などに説明しやすい。例えば、すでに進行している琵琶湖にヨシを植えるプロジェクトを現地の写真をみせながら実践者と一緒に紹介すると説得力が全然違った。

策定は大変だったが、環境市民が実践を想定した計画 策定のコーディネートをしてくれたことがよかった。動 かない計画をつくってもしょうがない。計画を動かすの は人!この『人』の気持ちを高めてくれた。高まったモチベーションを維持していくのが行政の役割。実際、それぞれのプロジェクトは、推進メンバーによって自主的に動きつつあり、特にびわ湖や川の環境保全を目指すプロジェクトは昨年4月にNPO法人を設立。水環境と地元湖魚の食文化を体験できる「家棟川エコ遊覧船」を導入した活動を始め、多くの市民(約400人)が水環境と食文化を体験した。地元自治会や市民団体、関係する他の行政機関とも連携をとりながら活発な活動を展開している。

策定に際しては「動く」計画にすることが命題だった。コンサルティング会社に頼んだ方が楽だったかもしれないが、推進組織などがすすみはじめがんばってよかったと実感している。今回の策定を機に、他部署でも「市民参画」の意識が広がりつつある。今後は、庁内のワーキンググループの仕組みを活発化させていくことが課題。

推進メンバーの声





環境市民は2001年、2002年に吹田市のローカルアジェンダ21策定の主体となる「アジェンダ21すいた策定会議」とその推進組織「アジェンダ21すいた」発足のためのコーディネートにかかわりました。その策定メンバーであり、アジェンダ21すいた代表/大阪学院大学国際学部教授の三輪信哉さんに、環境市民のコーディネートの感想、環境基本計画策定に関心を持つ読者にメッセージをいただきました。

" 創造的な社会活動の第一歩 "

環境市民のコーディネート、ファシリテート力はすばらしかった。策定コーディネートは、コンサルティング会社や行政、大学が行うことがあるが、市民からみると、コンサルは専門家、行政であれば従う存在に見

える。ただNGOとなると「同じ市民」という見方になる。これには一長一短があるけれども、環境市民のスタッフははっきりいうときにはいい、穏やかに聞くときは聞き、「同じ市民の目線」でいるんな考えの人々を

コーディネートしていた。考えあぐねていたり、意見は 出してもまとめきれなかったり、どう表現したらいいか 悩んでいるときに、環境市民がちょっとずつ出してくれ るアイデア、何気ない一言でブレイクスルーすることが なんどもあった。

環境問題の解決はクリエイティブで、自分たちにかか わってくることだ。環境基本計画の策定はそのために貢 献できる場だと思う。こうした場が当たり前になって いってほしいし、それが楽しいということを知ってほし い。推進組織がCO2を何%削減できたのか、というこ とでは微々たるものかもしれない。でも、地域の人たち がより住みやすい、快適で、地球にも優しい、そういう まちになっていくことにみんなが何らかの形でかかわっ たら、子々孫々その地域に生まれ育ってよかったと思え るようなまちになるはずだ。

すべての人がすべての社会問題に関わるのは無理で、 環境基本計画には、市民35万人のうち、100人ぐらい が関われば上出来だ。一歩一歩だが輪を広げ、時間がた てば大きな影響を与えることができるはずだ。○○反対 運動ではない、自らが社会の一員として責任をもって参 画する創造的な社会活動の第一歩として、策定に関わっ てみてはどうだろうか。

¶▲ □ あなたのまちの環境基本計画を調べてみよう

調べ方

- 自治体のウェブサイトで探す
- 該当するまちの役所の環境関連部署に電話をする



計画があった場合に調べる ポイント

- ・住民も参画した推進組織があるかどうか。
- ・どのようなプロジェクトがあるか。
- ****** 関心の持てるプロジェクトがあれば、 ぜひ参加しよう。
- ••••• 関心にあうプロジェクトがなければ、 推進組織に提案をし、仲間を集めて作り出そう。
- ・計画が策定されて何年もたつ場合、改定の 予定があるかどうか。



計画がなかった場合に調べる ポイント

- ・策定予定があるかどうか。
- …▶ ◎策定/改定の予定があれば、委員の公募は あるかどうか。
 - •••• 委員の公募の予定がなければ、委員公募を求 め、仲間といっしょに応募しよう。



計画があっても動いて いなかった場合

- 「動く計画」づくりを提案しよう。
- ・具体的プロジェクト中心の計画づくりを提案しよう。
- ・プロジェクト提案をする場合、他市の先進的な事例から 学ぼう。(市民、行政、事業者の協働行動が大切。推進の仕組みも明確に)



もしこれから策定や見直しをするような案件がありましたら、 環境市民京都事務局までご連絡ください。

~子どもたちに残したい理想のまち~

奈良県生駒市・環境基本計画策定の様子 no.3

→ のコーナーでは、環境市民がコーディネー トする奈良県生駒市の環境基本計画の策定 の様子を、同計画の策定委員であり、環境市民の 会員でもある樽井雅美さんがレポートします。

※ no.1 は 2007 年 10 月号、no.2 は 2007 年 12 月号をご覧 ください。活動の進展にあわせて不定期で報告します。



文/ 樽井 雅美

環境市民会員。お菓子の情報サイト主宰。お 菓子の取材を繰り返す日々の中、陶磁器類の 使い捨てカップの問題に気がつく。環境に配 慮された再生カップと環境に配慮された仕組 み (デポジット) を広める運動『One dish Aid』運動をスタートさせている。

One dish Aid http://onedish.net/

委員会の取り組みを市民へアピールしよう!

生駒市環境基本計画策定委員会では、交通、自然、生活環境、 エネルギーの4つの分科会に分かれ、これまでのワークショッ プでの議論の振り返りや地域の具体的な問題点の洗い直しをお こなっています。分科会を重ねるごとにメンバーのチームワー クや環境基本計画策定に向けての意気込みがパワーアップして いることを感じます。

そんな中、メンバーから「月に2回、3時間の会議で毎回 自分たちの市の未来について白熱した議論を交わしがんばって いるのに、この委員会の存在自体がほとんど市民に知られてな い。委員会の活動をもっと市民にアピールしていくべきでは」 との意見が出てきました。その提案にメンバー一同大賛成。ア ピールするためにはどのような場所がいいのか? どのような 方法があるのか? 活発な意見が飛び交いました。この素晴ら しい提案に急遽、市民へのアピールをどのようにしていくかと いうテーマで話し合う時間がもたれました。「駅前に掲示板を 設置したらどうだろうか?」「市の広報誌に載せてアピールで きないだろうか?」「ケーブルテレビは利用できないだろうか」 などなど……そんな中、委員メンバーの事業者の方々からまた また素晴らしい提案がありました。策定委員のメンバーには、 バス会社、スーパー、電力会社などの事業者の方々が多数参加 されています。そんな事業者の方々から「バスの車内にメンバー のポスターを作って張りましょう!」「店頭の掲示板に張るこ とも可能です」との提案がされました。素晴らしい提案にメン バー一同から拍手が湧きあがりました。

ポスター掲示

2008年最初の策定委員会でメンバー全員の集合写真を撮影 し、ポスターを作製しました。そしてポスターは事業者の方々 の協力で駅前のバスターミナルやスーパーの掲示板等に張り出 されました。掲示が始まってから「ポスター見たよ。あの委員 会の委員しているのね」などと数名から声をかけられアピール の効果を実感しました。

小さな成功事例

今回行ったポスターでの活動アピールは、我々がおこなった はじめての「プロジェクト」だと思います。今回の事例は、こ の策定委員会が市民、事業者、行政、違う立場の人たちで構成 されているからこそできた「プロジェクト」だと思います。行 政だけではできないことが事業者とのネットワークで可能に なったのです。このプロセスには、今後、私たちが基本計画の 中で組み立て実行していくプロジェクトを成功させるためのヒ ントがたくさん詰まっているように思います。「我々の活動を 知ってもらえていない」という問題に対して、みんなで考え、 知恵を絞り、立場の違うそれぞれが持つ得意分野を活かし、協 働で「市民へのアピール」という「プロジェクト」を成功させ たのだと思います。小さな一つの成功例が委員会の中から生ま れたことをとてもたくましく思います。そして、どんどん行動 を起こしていく委員会のメンバーを本当に誇らしく思います。

環境基本計画策定委員会がスタートしてから一年を迎えよう としています。折り返し地点に立ち、各分科会では具体的な問 題点を絞り込み、プロジェクトを企画していく段階に差しかか ろうとしています。





ディアーズコープ 生駒店(左上)と生 駒駅前奈良交通バ スのバス停前(左 下)に掲示された 委員会メンバーの

行事案内



環境市民

TEL) 075-211-3521 FAX) 075-211-3531

IP電話)050-3581-7492 E-mail)lile@kankyoshimin.org

куото

http://www.kankyoshimin.org/

●もっと自転車が好きになる!2008春のサイクリングツアー

春の風を感じ、景色を楽しみ、自転車の魅力を再発見するサイクリングツアー。

『京都自転車マップ』からおすすめコースを環境市民自 転車チームのメンバーがご案内致します。

と き: 4月12日(土)午前10:00から午後4:00頃

集合場所: JR二条駅前

参加費: 500円 (保険費込み)

コース: 二条駅→松尾大社→洛西ニュータウン→長岡 天神→ 桂川サイクリングコース→松尾大社前で解散 (当日、諸般の事情により変更する場合もあります)

申込み: 必要

締 切: 4月7日(月)

備 考:自転車は各自でご用意ください。変速機付サイクリング向きの型をお薦めします。レンタサイクルでの

参加も可能ですので、事前にご相談ください。

●わいわい、ウキウキ1Dayボランティアデー

エコな話題でわいわいおしゃべりしながらニュースレターの発送作業をします。

4月は、環境市民が毎週放送しているラジオ番組「環境市 民のエコまちライフ」で放送された「京都御苑の楽しみ方」 から、誰でも簡単にできる自然観察の方法や京都御苑の歴 史をご紹介します。

来てくださった方には、自然観察の簡単なポイントをまとめた環境市民オリジナル「森のフィールドノート」をプレゼントいたします。

と き: 4月28日(月)午後5:30 から8:00頃まで

4月30日(水)午後1:30から7:00頃まで

ところ: 環境市民 京都事務局

備 考:予定時間を過ぎて来られる場合は予めご一報ください。講演ではありませんので、作業をしながら話をきいたり話したりする状況になることをご了承ください。

……次回発送日は

5月28日(水)午後5:30 から8:00 頃まで 5月29日(木)午後2:00 から7:00 頃まで

● 29 日は「環境首都コンテストで見えてきた自治体環境 施策の課題と希望(仮称)」についてご紹介します。 環境市民 東海事務所

TOUKAI

TEL·FAX) 052-521-0095 IP電話) 050-3581-7492 E-mail) tokai@kankyoshimin.org http://www.kankyoshimin.org/tokai

■「なごや環境大学」ひとづくり講座 環境市民自然環境樂校

東海事務所の遊びながら自然環境を学ぶ樂習講座です。 春の陽ざしをを浴びて森から海まで、ど〜んと遊びま専科? 今回は森からスタートして、川を下り(河原・土手を歩く)海に出ます。森に降った雨が海に流れる行程を愉しみ、流域を体感しながら水の旅をします。

と き: 第1回4月12日 (土) 海上の森を歩いてみま専科 ところ 第2回4月26日 (土) 矢田川を歩いてみま専科 第3回5月10日 (土) 庄内川を歩いてみま専科 第4回5月24日 (土) 藤前干潟を歩いてみま専科 第5回6月 7日 (土) ふりかえりをしてみま専科 (鶴々亭)

時 間: 各回午前9:00から午後3:00 現地集合解散

定 員: 各回20人

参加費: 5回 2,000円 (保険・資料代含) ※1回400円でも参加できますが、連続して参加できる方を優先します。 申込み:必要。お名前・連絡先を明記の上、件名は「なごや環境大学申込」として、メールアドレス(tokai@kankyoshimin.org)にお申込みください。 申込みされた方に集合場所や持ち物などを連絡いたします。

備 考: どなたでも参加できます。環境教育に関心のある方、環境リーダー・インタープリターをめざしている方にも最適です。

環境市民 滋賀事務所 TEL)077-522-5837

E-mail) cefshiga@kankyoshimin.org

SHIGA

●ブルーギル釣り大会

大津環境フォーラムエコ祭りに参加し、ブルーギル釣り 大会を行います。浜大津港付近の湖岸にはブルーギルがた くさん棲息していて、簡単に釣ることができます。湖岸の 状況・魚の状況を知るために、親子でブルーギル釣りを行 い、釣ったブルーギルは回収します。

と き: 4月29日(火) 正午から午後4:00 ところ: 明日都浜大津(1Fフロアーに正午集合) 交 通: 京阪京津線・石坂山本線 浜大津駅下車すぐ

参加費: 無料

申込み: 必要(締切4月20日(日))

主 催: 大津環境フォーラムいきいき河川グループ





古い木材も見違えるほどきれいに "洗い屋"ワークショップ

実施日時:1月27日(月)午後1:00~5:00

プ ザイン事務所が、古い京町屋(京都市内)を改修して、テナントとして入るのを機に、汚れた木を洗って美しくよみがえらせる"洗い屋"ワークショップを企画しました。無垢の木であれば、どこでも"洗い"が可能ですが、今回は 天井と床板と障子を洗うことにしました。

"洗い"とは、日本の伝統的な家屋洗浄の技術で、強アルカリの苛性ソーダを水に溶かした薬品を使って、木の汚れを洗い落とす作業です。木の種類や汚れの種類によって苛性ソーダの濃度を調整します。杉や桧のように軟らかい木は薬品を弱くし、松や栂などの硬い木は少し強い薬品を使います。

最初に、稲穂の穂先で作ったほうきで木に水を含ませます。次に、琉球いぐさで作ったアク引きという名のほうきのような道具を使って苛性ソーダ水を塗布していくと、木の表面から埃や汚れがしみ出してきます。この汚れをほうきで水洗いしたあと、細い竹を束ねたササラという道具でやさしく磨いていくと、さらに汚れが落ち、木目が鮮やかによみがえってきます。その後、ほうきでシュウ酸を塗って中和させ、再度水洗いします。最後に雑巾で水気を拭き取って完了です。

講師の今江清造さん実演のあと、一般参加者とデザイン

事務所のスタッフたちが"洗い"を体験しました。ほとんど真っ黒に汚れていた床板や障子の桟が、見違えるように美しくなって感激でした。熟練の洗い職人である講師は、「木は洗えば何度でも綺麗になる。最近は木造の"洗い"の仕事が減ってしまい、後継者が少なくなっている」ということをお話してくださいました。

この日は雪がちらつくほどのすごく寒い日でした。作業は窓を開けての屋内や屋外での水を使う作業でしたので、参加者は体をこわばらせながら、でも熱心に貴重な洗いの体験を楽しんでいました。

古くなったから、汚くなったからと言って、すぐに捨てるのではなく、美しく再生する手段を知っていれば、物を大切に長く使い続けることができます。洗いによって、木の住まいは、何回でもよみがえらせることができる。自然住宅研究会のスタッフも学ぶところが多いワークショップでした。 (文/自然住宅研究会 高谷 敏正)

句。パサメモ

あなたの心に季節の窓を。 旬の話題と暮らし方のヒントをお届けします。

vol.34 フェアトレードコーヒーで新生活

「春眠暁を覚えず」の言葉の通り、「新生活スタート!」の意気込みとは裏腹に春のぽかぽか陽気が私たちを眠りに誘います。ガムをかむ、顔を洗う、眠気に効くツボを押す、逆に昼寝をして頭をスッキリさせる。眠気と戦う方法はさまざまです。なかでも、コーヒーにお世話になっている方が多いのではないでしょうか。コーヒーでおすすめなのは生産過程や生産農家との公正な取引関係が整えられているフェアトレードコーヒー。最近では一部のスーパーやコーヒー専門店、インターネットでも購入できるようになりました。ぜひ新しい生活に変わるとともにコーヒーもよりよいものに変えてみてはいかがでしょうか。

(ニュースレター編集部/安江 晃子)

●いずれも京都事務所で行います。ぜひご参加ください。

4月 2日(水) ニュースレター編集部企画日午後7:00

4月 5日(土) 自然住宅プロジェクト午後6:00

4月 8日(火) ニュースレター編集部編集日午後7:00

4月23日(水) ニュースレター編集部校正日午前10:30



講演のご案内

●お近くにお越しの際は ご参加ください。詳しくは京都事務所まで。

8日(火) 牧ノ原市/地球温暖化防止

※一般参加はできませんが下記の講座にも講師を派遣しています。

25日(金) 環境省職員研修/NGO活動と行政



Seminner

セミナー

「挑戦 地域から日本を変える ~日本の環境首都への道~パート3」開催

2 008年2月28日、銀座コムホール(東京都中央区)で、「ハイライフセミナー 挑戦 地域から日本を変える~日本の環境首都への道~パート3」が開催された((財)ハイライフ研究所、同ネットワーク、環境市民による共催)。これは、DVD「挑戦―地域から日本を変える―映像版 日本の環境首都コンテスト先進事例集」**を用いたセミナーで、今回3回目となる。

セミナーでは飯田市、北九州市の映像が上映され、高畠町エコ タウン推進室環境推進主査の村上奈美子氏が町の取り組みについ て講演を行った。



飯田市

人と風土を活かして持続可能な地域 社会づくりのトップランナーをめざす

飯田市は、環境首都コンテストには第1回から皆勤で参加、ほぼ毎回上位に食い込み、先進事例も多く出している強豪。 風土を活かした「ほんもの体験」を提供する南信州観光公社や、地域住民が主体となって運営などを行っている公民館や図書館、地域ぐるみ環境ISO研究会などの取り組みが紹介された。



北九州市

世界の環境首都を目指す 多様な取り組み

北九州市は、昨年の第6回で他を大幅に引き離し見事1位を獲得した。 2003年より世界の環境首都を目指して取り組み、市の組織として部局横断的な環境首都推進室を設置。エコタウン事業や環境国際交流など幅広く取り組んでいる様子が紹介された。力を期待させるセミナーであった。



高島町

住民とともにすすめ・ ひろげる地球温暖化防止

高畠町は、第2回から連続して参加している町で、小規模の自治体ではあるものの、多くの先進事例を持つ自治体である。2003年より行っている「笑エネキャンペーン」を中心に、そこから広がった環境アドバイザー制度やエコドライブ講習などについて、村上氏が講演を行った。

映像や講演を通して感じたのは、お金をかけなくても持続可能性は追究できるということだ。三つの自治体は場所も規模もまったく異なるが、経験や人やモノなどの資源をうまく活用していることは共通している。映像の中で飯田市の牧野光朗市長が「人材のサイクルを作り出すことが有効である」と語っていたように、やはり「人」が中心である。三つの自治体はその人材

のサイクルをうまく活用している。全体を通じて、今 後の地域の力を期待させるセミナーであった。

(文:環境市民会員/杉原 知宏)

※日本の環境首都コンテストで選出した先進事例を映像で紹介するもので、(財)ハイライフ研究所からの支援で2005年度から作成している。今回の第3集では長野県飯田市、福岡県北九州市、山形県高畠町を特集している。

五感と頭を 環境**クイズ** フル活用!

●ニュースレター3月号(No.178)の「みどりの瓦版」(P14)で 紹介した環境クイズの答えです。



最近よく耳にする「フードマイレージ」は食べ物の生産地から消費される食卓までの輸送に要した「距離×重さ」をあらわす指標です。このフードマイレージが世界一の国はどこでしょうか?

(1) 日本

(2) 韓国

(3) アメリカ

(4) 中国

解答

..... (1)

フードマイレージ世界一はずばり日本です。日本のフードマイレージは、約5000億 $t \cdot km$ で、2位の韓国は、約1480億 $t \cdot km$ 。3位のアメリカは、約1350億 $t \cdot km$ になります。この数値が示すように日本では、海外から多くのエネルギーを消費して食料を輸入しています。食に対して安心・安全が得られるように、また食料自給率の向上のためにも地産地消の考えでいきたいものですね。〈出典〉農林水産政策研究所 2000年

こらむ no.1

「公」のあり方を変える



た第3回世界水フォー 皿として設立し、

エア い名刺入れを探した結果、出てきま 明末 境市民との出会いを思い返すため古 が入っていました。15年前のことです。 さんの名刺が。1993年1月11日の日付 い名刺入れを探した結果、出てきま 「ごみ問題市民会議 ** 杦本 育生」

は、

●COP3への関心に驚き

ワークのネットワークを利用させてもらい した。発足したてのグリーン購入ネット

全国発信しました。すると、多くの企業が

がドイツのベルリンで行われて、10万人の 関する調査旅行を行っています。COP2 心が高く「もちろん、来年は京都へ行く した環境NGOの人たちのCOP3への関 時代の流れを感じます。 トップ議題となるとは、 時あまり私はわかっていませんでした。第 約束期間を迎えた今、世界での政治の 何とも言いがたい

集会もあった様ですが、驚いたのは、

環境市民の人と私たち夫婦で北欧に環境に

回締約国会議(COP3)開催の前年には、

という言葉が認識されない時代に、です。 されました。これには驚きました。NGO 各地からNGOの主催するセミナーに参加

COP3での京都議定書の意味はその当

です。1997年の気候変動枠組条約第3

環境市民の会員になったのは1995年

●小さな会社でもCSR

た。国内では、温暖化などへの理解は低く、 よ」のようなことを平気で言うことでし

「コップが3つの会議って何?」という程

らせていただきました。その中で、環境市 トップの理解を得て、割と好きなことをや 30年弱の企業生活では、中小企業で です。特に私は企業向けの企画に加わりま と市民向けの連続セミナーを開催したこと COP3に向けてのNPOとしての活動 1997年に環境市民主催の企業向け 結ぶ活動もしている。 というクリーンなイメージはできたのでは かはわかりません。ただし、環境に熱心だ 題を先取りし、イメージを高めながら、顧 のですが、企業の顧客が対象です。 研修会」、1997年に「食品の環境ラベ リーズの「環境問題と経済活動についての 責任)の一端です。1996年に6回シ ました。今で言う、CSR(企業の社会的 民とパートナーシップ事業をいくつか行い な戦略でしたが、どれだけ本業に貢献した 客にもその重要性を訴えます。顧客の顧客 た。企業が金と人を出して環境を研究する ル(エコラベル)の研究会」を開催しまし には元の企業の本業に反映する。このよう (消費者)に先進性を訴える形で、

環境問

るという証明です。全体からのコストはた やる気なら、小さな会社でもCSRはでき きないと言う概念を打ち消します。 いしたことはありません。 このことは、大きな会社しか社会貢献で 企業が

●NPOで生きていく

いでしょう。でも、2年目は120万円、 いました。「最初の年は年収が0円でも良 宅などの借金もなく、パートナーは渋々言 その会社の役員を退任しました。NPOで かりましたが、子どもの教育も終わり、住 の理解が最低条件です。ずいぶん時間がか 生きていこうと思ったからです。当然家族 4年前、10年後のことを考えて、55才で

> 3年目には生きていくだけの300 方円

果的に」知ってしまうというセミナーや、 う言葉になじみの薄い府民を対象に、 で参加いただきました。 など3つのセクターからほどよいバランス がありました。また、企業・NPO・行政 フォーラムの反応がよく、定員の倍の応募 る」フォーラムなどを開催しました。特に とNPOと行政のパートナーシップを探 職員とのお見合いの場づくりや、 NPOとそのNPOの関係する領域の行政 の人の趣味の世界からNPO活動を を結ぶことです。この1年、 公務員になりました。任務はNPOと行政 進室からお呼びをいただき、非常勤です 昨年4月より、京都府庁のNPO協同推 NPOと 「企業

、最終的

シップで向上するかもしれません。 NPOの生活の経済性もこのパートナー この中にはファンドも含んでいます。私の 今後の仕事の柱は、これだと思っています。 このような中から住民自治を高め、今後 「公」のあり方を変えねばなりません。

う少し豊かになっても良いと思います。 タッフの雇用の増大や待遇の向上など、 東京支部の設置や大きな事務所の確保、 てほしいと思います。また、経済的には、 にもリーダーとして今後の日本を引っ張っ 環境市民には、環境はもちろん、社会的 ス

※ごみ問題市民会議は環境市民の前身団体です。



みどりのかわらばん 読者×読者、読者×環境市民をつなぐコー ご意見・ご感想など、お待ちしています。

編集/ニュースレター編集部 角出 貴彦 風岡 宗人

読者×読者、読者×環境市民をつなぐコーナーです。 ご意見・ご感想など、お待ちしています。

みどりの特派員便り

 全国で活躍する環境市民の会員さんが、「みどりの特派員」として地域の活動や思いを紹介します。 この記事がきっかけとなり、新たな環境市民ネットワークの創出ができればいいな。

◇ 久留 正成さん — 環境経営に取り組む中小事業所を増やし環境まちづくり —

環境市民を知ったのは 10 年程前のことで、いろんな取り組みが斬新でこんな活動を展開してみたいと入会しました。当時は松下電器産業(株)の環境管理部門で環境経営を推進するとともに地域での環境市民活動にも参画していました。それらの活動を進める中でもっと環境活動の輪を広げないと大変なことになると危機感を募らせ会社を辞め、高齢になった父母が住む鹿児島に 6 年前、Uターンしました。

そして鹿児島ではNPO法人エコサポートTGALを設立し5年になります。Think

Globally Act Locally(地球規模で考え、地域で足元から実践)の考えの元に、鹿児島という地域に特化して活動しています。特に企業内での経験を生かし中小事業所が環境という視点で改善を行うと同時に組織の活性化、経営体質を強化するお手伝いをしています。昨年後半には約200社を審査・コンサルしました。今後は、環境意識が高く改善力のある企業人が家庭や地域で活動を広げられるしかけづくりや、環境ビジネス拡大の支援を考えています。

鹿児島市も最近では環境保全に力を入れ、

「環境管理事業 所認定制度」、「学 校版環境 ISO」、 鹿児島市・事業 所・市民が協働す



中小事業所へのコンサル風景

522369-劇場

VO . 16

る「エコパかごしま」、「グリーン証書を活用 した太陽光発電の普及」等注目される事業 も出てきており、昨年参加した指宿市に続き、 県内2番目の環境首都コンテストへの参画 も近いのではと期待しています。

● NPO 法人エコサポート TGAL のウエブサイト http://www.geocities.jp/kttcw652/

環境市民 * 法人会員さん紹介

◯ 環境市民の法人会員は現在 16 団体。毎月 1 団体ずつご紹介します。

第15回:(財)京都ユースホステル協会

ユースホステル(以下 YH)運動は、環境先進国であるドイツで始まり、次世代を担う若者が旅の経験を通して、人種、宗教、国籍にとらわれず訪れた国や地域の固有の文化、生活、自然環境について学び、理解し尊重すると共に、相互理解を深め平和に貢献する活動として世界に広がっています。来年は、この運動が始まって 100 周年を迎えます。

京都 YH 協会では、ドイツ YH 協会との交流もあり、ごみの分別やリサイクル、生ごみの堆肥化、YH での KES 認証の取得など、環境負荷を抑える施設運営に 取り組むほか、旅行者の環境保全へのかかわりや理解 を深める町歩きツアーなども開催してまいりました。

環境市民への参加では、エコ修学旅行や宿泊施設のエコ化の取り組みなどに必要な情報や事例の入手、スタッフ研修などでご協力をいただき、環境に配慮したYH運営に役立てております。

改築工事が遅れている宇多野 YH も、今年の 7 月にはリニューアル・オープンの予定で、新しい施設の利用が可能となります。オープン後は、会員のみなさ

んと協働してセミナーや 体験事業の開催、京都の エコツアー紹介など、今 後も積極的に環境調和型 の京都観光推進に貢献で きるよう頑張っていきた いと思っております。



改築前の宇多野 YH の庭を 使ったリサイクル・バザー

みどりのわりつながる· ひろげる

ニュースレターモニター、また読者の方からのご意見に 編集部がお答えします。

3R で社会のあり方を見直そう

こんにちは、昨年10月に会員になった信州在住の平島です。3月号のリユース特集を興味深く読みました。痛み止めの薬で一時的に楽になっても、原因を治療しないとかえって症状を悪化させるよというメッセージですね。ごみそのものを減らすという3Rの優先順位の再確認は、つまり私たちの社会のあり方を見直しましょうということでしょう。最近、個装でないから買っていたお菓子が個装になりました。これではリデュースできませんね。

(平島 安人さん / みどりのニュースレターモニター)

編集部より

リデュース、リユース優先の社会は、窮屈なものではなく、新しいデザイン、売り方、商品がうまれるクリエイティブで、かつ、ごみを減らすことができるものなんだ、ということをもっと多くの人に知ってほしいですね! (M.A)

※羽野和幸さん、鈴木健弘さんからもお便り をいただきました。ありがとうございました。

大変をうう。 大変をから。 大変をから、 大変をか

イラスト: かわみん

新会員の方々・寄付

新会員 寄付

 池田 直樹
 小柴 啓子

 大塚 要
 坂井 博司

 岡田 幹治
 山名 優吏

江川 真理子 増田 武川上 博美 SKIP

木村 幸子 匿名希望 古川 道夫 2 人

2月9日から3月15日

(五十音順敬称略) ありがとう ございました!

新入会員インタビュー:

坂井 博司 (さかいひろし) さん / (富山県) 3月15日入会

環境市民のウェブサイトを見つけ、その活動に好印象を抱いたことが 入会のきっかけです。環境市民での活動を通じ、環境問題に対する自分 なりのアプローチを見つけていけたらと考えています。



(ご意見・ご感想宛先)

●メール・FAX・郵送でお送りください 【E-mail】newsletter@kankyoshimin.org 【FAX】075-211-3531 【郵 送】〒604-0932 京都市中京区寺町通二条下ル 呉波ビル3階 NPO法人環境市民 みどりのニュースレター編集部 宛



環境市民

かんきょうしみんぶんのいち

★環境市民の会員を紹介します

no.34

北村 ますみ さん

あるときは体操の先生、またあるときは似顔絵描 き屋さんで、川柳もおてのもの。

環境市民ではラジオチームの一員として活躍中。

エコ川柳 ラク便利 キレイ早いも ほどほどに

■「環境市民のエコまちライフ」

毎週月曜日の午後1時から30分間、 FM79.7MHzで放送される「環境市民の工 コまちライフ」で、北村さんはパーソナリティ を務めている。

「水」「食」「観光」「虫」「憲法9条」「気 象」などなど、毎回お迎えするゲストのお話 は多岐にわたる。「そのお話を直接聞けるの は、役得です」と、顔をほころばせる。ラ ジオチ-ムのミ-ティングもとっても賑やかで、 楽しいそうである。

趣味の多い方である。似顔絵、体操、川 柳……。以前に京エコロジーセンターでボ ランティアをしていた時は、チーム活動とし て「エコ川柳コーナー」で川柳をつくったり、 キャラクターの「エコ仙人」を作ったりした。

「ラク便利 キレイ早いも ほどほどに」 は、「快適な生活を求めすぎてエネルギーを いっぱい使う、そんな暮らしを見直そう」と いう想いをこめて作った。物が溢れ、時間に 追われる現代人をしなやかに批判する。

20年以上やっている中国の体操は、「十八 の型で出来ている中国の健康体操で、すごく 動きがゆっくりなんです」。よく間違えられる らしいが、太極拳とは違うそうだ。

「顔写真、似顔絵でもいい?」と、自ら描 いた似顔絵が、今回顔写真の代わりとなっ た。この似顔絵は〈似らすとれーしょん〉と いう。これは、習っている先生が作った造語 だ。この先生も面白い方で、似らすとれーしょ んのイベントも多い。このイベントの収益金 も NGO などに寄付されているそうだ。



■人生を変えたかも? 琵琶湖一周

「琵琶湖一周から、人生が変わってきたか も」と、笑う。ある日突然、「私、歩いて琵 琶湖一周します!」と宣言して、家族を驚か せた。それから2年半の間に、日中に行け る所まで行って夜になったら帰宅し、次回は その場所からスタートするというのを繰り返 し、23日かけてゴールした。「ゴールのと きにね、奇跡がおこったんですよ」。山深く、 はたして越えられるのかという、昼でも暗い 森だった。ところが、朝、えらくあたりが賑 やかなのだ。偶然、ある団体のイベントと一 緒の日になり、100人くらいの人と一緒に峠 越えをすることになった。「一日でもずれてい たら、歩けなかったかもしれないでしょ」。ゴー ルには、花束とシャンパンを持ってお子さん 達が待っていた。いろんな出会いがあり、達 成して何かが変わった。一人でも、少しずつ でも何かができる、そんな琵琶湖一周だった。

■いよいよ次なる目標へ

さて北村さんの次なる目標は、ピースボー トの主催する世界一周の船旅。気になりだす と不思議なもので、やたらポスターが目につ く。家族にうちあけた。「行こうと思うんだけ ど」。「誰も反対しなかったんですね。逆にびっ くりしました。反対しても行くやろうと思われ てるんですね」と笑う。娘さんには、「いいな、 私も行きたい」と言われたそうだ。

いよいよ、5月の中ごろには800人の仲 間とともに、104日間の旅に出る。もう、ほ とんど準備は終わり、希望に胸膨らませる 日々。船の中では3つの目的があるそうだ。

- 1 崩れ落ちるアラスカの氷壁を見る
- 2 出会った人の似顔絵を描いてくる
- 3 船の中で体操ができたらいいな

最近の趣味は、広辞苑だそうだ。なんで も、調べる。わかりきっていることも調べる。 そこからいろんな世界が広がる。「毎日、目 から鱗ですよ」。多彩な趣味やウンチクがラ ジオのパーソナリティーとして役立っている ことは言うまでもない。「いろんな人と会える

のが楽しい」という 北村さん、これから 始まる船での生活も、 毎日が出会いの連続 だろう。帰られてか らの、熱いレポート が期待される。



(取材・撮影 千葉 有紀子)



目立たないところでも、 お力を貸してくださった 方々に、感謝をこめて一。

【ニュースレターの発送】

佐藤 文絵/林 和也/藤居 竜矢/藤井 千穂/安江 晃子

【その他】

岩塚 輝雄/宇都宮 亮二/栗林 紀幸/久布白 磨耶 古久根 瞳/外山 恵美子/古川 悠/安田 彩峰 (五十音順敬称略)

編集部(五十音順)

有川 真理子 乾 孝史 風岡 宗人 駒 ゆき香 島津 源紀 久保 友美 角出 貴彦 田麦 誠 千葉 有紀子 東 広之 藤居 竜矢 藤岡 洋貴 安江 晃子

下司 智子 (デザイン・レイアウト)

編集後記

環境市民の会員になり、ニュースレ ターに関って1年。良い出会い、活動 を経て広がってゆく自分の世界がありま した。今月は特に、何かを真に理解し、 記事を書くためには取材や現場の方の生 の声が大切だとひしひし感じました。

(ニュースレター編集部/田麦誠)



事務所を 探しています!



境市民・京都事務所では、今の事務所よりも広い事務所をさがしています。みなさんのご支援のおかげで、活動も活発になり、資料が増え、ボランティアや打ち合わせの方が集うには手狭になってきました。そこで、以下の条件にあてはまるような物件を探しておりますので、みなさんのお近くでありましたら京都事務局までお知らせください。

条件

●地域:京都市中京区東部

●広さ:30 坪ぐらい(現在20坪)

■家賃:できれば20万円弱/月ぐらい ※お値引きしてくださる方がいれば助かります ●備考……ボランティアスタッフが集まるので、京阪、地下鉄、阪急のいずれかの駅から徒歩約10分圏内、自転車駐輪場が近くにある場所を探しています。また、できる限り冷暖房の使用を控えたいので、日当り良好、風通しのいい場所を希望しています。

ご連絡はこちらまで お願いいたします

京都事務局 電話 075-211-3521 FAX 075-211-3531

環境市民に入会しよう!

環境市民は、多くのボランティアと会員の皆さんの参加によって支えられています。 「持続可能で豊かな社会づくり」のために、ぜひ会員になって環境市民の活動を応援してください!

■会員特典

□月刊会報誌「みどりのニュースレター」をお届けいたします。

□行事などの参加費を割引させていただきます。

□会員専用ブログ「ボランティア広場」への参加ができます。

□環境に関する様々な情報を得たり、また質問や相談ができます。

■ 会費の振込み方法

(1) 郵便振替振込用紙に、住所・氏名・電話番号・会員の種類・ 送金内容事項をご記入の上、「年会費+入会金」をご入金ください。 (※シニア・学生・助成・特別助成会員は入会金不要)

(2) ご入金を確認後、最新のニュースレターと会員バッジ、入会記念としてポストカードをお届けします。

会費

種別	年会費	入会金
個人会員	4,000円	1,000円
ペア会員	6,000円	2,000円
シニア・学生会員	3,000円	
ファミリー会員	8,000円	2,000円
助成会員	10,000円	_
特別助成会員	50,000円	_
終身会員	一括 80,000 円	
営利法人会員*	1口 50,000 円	50,000円
非営利法人会員*	1口10,000円	2,000円

*年会費は一口以上

~あなたのご支援が環境市民を支えます~

● 寄付をする・・・ 住所・氏名・電話番号・寄付金額をご明記の上、下記の振込先へお振り込みください。

会費・寄付のお振込み先 【郵便振替】口座番号:01020-7-76578 加入者名:環境市民

(発行) 特定非営利活動法人 環境市民 (代表) 杦本 育生 (発行人) 堀 孝弘 [TEL] 075-211-3521 [IP 電話] 050-3581-7492 [FAX] 075-211-3531 [E-mail] life@kankyoshimin.org [URL] http://www.kankyoshimin.org 〒 604-0932 京都市中京区寺町通二条下ル呉波ビル 3 階 (月から金 午前 10:00 から午後 6:00)

環境市民 東海事務所

【TEL&FAX】 052-521-0095 【IP 電話】 050-3604-6182

[E-mail] tokai@kankyoshimin.org [URL] http://www.kankyoshimin.org /tokai/

〒 451-0062 名古屋市西区花の木 1-12-12 AOI ビル 4 階

環境市民 滋賀事務所

[TEL] 077-522-5837 [E-mail] cefshiga@kankyoshimin.org 〒520-0046 大津市長等2丁目 9-12 竺 文彦気付

> この印刷物は風力発電による自然エネルギーを使用して 大豆油インキで印刷しました。印刷: (有) 糺書房

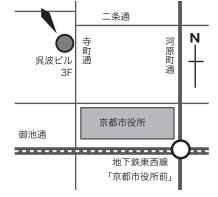
本誌の無断複写・複製・転載を 禁じます。

「環境市民」登録商標 第4809505号

本誌はメーカー側が古紙100%とする 紙を使っていますが信頼性の確認がとれていないため、古紙配合率100%を 示すR100マークははずしています。







環境市民 Citizens Environmental Foundation

Citizens Environmental Foundation 21世紀 地球を、地域を、生活を、

持続可能な豊かさに

